



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1997～98年度 RIテーマ

国際ロータリークラブ会長 グレン・W・キンロス



ロータリーの心を

あなたの住むところ 私たちの世界 そこに住むすべての人々に

—四大奉仕部門すべてを通じて— ロータリーの心を示そう

クラブ奉仕—あなたのクラブに ロータリーの心を

職業奉仕—あなたの職業に ロータリーの心を

社会奉仕—あなたの地域社会に ロータリーの心を

国際奉仕—私たちの世界に ロータリーの心を

雑 誌 月 間

第501回 平成10年4月10日(金)

[本日のプログラム]

- | | |
|--------------------|--------|
| 1. 点 | 鐘 |
| 2. 国 歌 | 斉 唱 |
| 3. ロータリーソング「奉仕の理想」 | |
| 4. 「四つのテスト」 | 唱和 |
| 5. 食 | 事 |
| 6. 会 長 の 時 間 | |
| 7. 幹 事 報 告 | |
| 8. 各 委 員 会 報 告 | |
| 9. 4 月 セ レ モ ニ ー | |
| 10. 会 員 卓 話 | 吉田康一郎君 |
| 11. 点 | 鐘 |

- | |
|---------------|
| 次 回 予 告 |
| * 4月17日(金) |
| 会 員 卓 話 |
| 林 卓美君 |
| * 4月24日(金) |
| 百 万 \$ の 食 事 |
| 会 員 増 強 委 員 会 |
| ☆ 4月15日(木) |
| 17:00 から山脇医院長 |
| 宅で、GSEとのディ |
| ナーパーティ開催 |

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週金曜日(12:30~13:30)	会 長	徳丸 彰一
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	加藤 仙之
事務局	宮崎郡佐土原町大字下田島20614	幹 事	梶田 與之助
	山脇医院長自宅内	会 計	福井 輝文
	☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170	会 費 課 長	垂水 敏雄

第500回例会記録

(1998. 4. 3)

☆会長の時間

徳丸彰一君

皆さん今晚は、今日は第500回例会です。恒例の観桜会を引き続いて開催することになっていますので、よろしくお願いたします。宝塔山公園の満開の桜を眺めながら、大いに浩然の気を養い、親睦をますます深めていただきたいと思います。観桜会の諸準備にご尽力いただきました吉田親睦委員長、福井会員に心からお礼を申し上げます。

☆幹事報告

梶田與之助君

1. 例会変更通知

- *日向RC 4月6日 12:30
富高忠霊塔(観桜会)
- *日向中央RC 4月8日 12:30
米の山(清掃奉仕)
- " 4月29日は休会
- *日向東RC 4月12日 8:30
JA日向会館(PETS轄)
- *宮崎西RC 4月17日 12:00
宮崎県立看護大学(講)

2. 1999-2000年度ガバナーノミニーの指名について、函師ガバナーより区内各クラブに対してガバナーノミニーの推薦依頼が来ています。

◇推薦期限 1998年5月30日

◇提出先 〒881-0035

西郷中町2-6 函師医院内

ガバナー事務所気付

『地区ガバナー指名委員会』

3. 函師ガバナーより、次のような要旨の書簡が送られて来ました。

『会長・幹事の皆様には、地区強調事項について真摯なご協力を頂き深く感謝いたします。また、新リーダーシッププランの一部採用により、今期の分区代理にも従来に倍するご負担をおかけして来ました。

お陰様でWCS (World Community Service 世界社会奉仕)として当地区で初めて実施しました書き損じ葉書の回収も、62,645枚という成績を収めることができました。

最近の深刻な不況の影響を受けながらも、新ロータリークラブ1、ロータリーアクトクラブ2、インターアクトクラブ2、プロバスクラブ3(あと有望2)の創立は、会長・幹事様を中心としたクラブの総力を挙げての努力の結晶であり、各分区代理のご協力と相俟って、感謝に耐えない次第であります。

しかし、残念ながら会員数は2月末現在で入会206名、退会180名で純増26名であります。また、R財団特に米山奨学会が伸び悩んでおり、昨年並の実績は困難ではないかと危惧しております。

今一度貴クラブ会員一人一人の、会員増強・R財団・米山奨学会に対する関心を喚起して頂きますよう、残された3ヶ月の有効活用を切にお願い申し上げます。』

4. アーロン・ハイアットRI事務総長から『1998年RI規定審議会の決定に関する報告』が送付されています。

ご希望の方は是非お読みください。

☆出席報告

委員長代理 田村勝二君

会 員 数	25名
H C 出席者数	18名
欠 席 者 数	7名
出 席 率	72%
メークアップ者数	2名
修正出席率	80%
欠 席 者 名	神宮寺・恒吉・柳田・藤堂・宮本

☆国際ロータリー第2730地区 1998 ～99年度のための地区協議会について 会長エレクト 加藤仙之君

期 日 1998年5月10日(日)

会 場 日向市文化交流センター
日向市中央公民館
J A 日向会館

ホ ス ト 日向東RC

コ・ホスト 日向RC・日向中央RC
門川RC

次期地区研修リーダー 海江田順三郎

指名出席者 ガバナー、ガバナーノミニ、バスターガバナー、
カウンセラー、リーダー、サブリーダー、
当期・次期地区幹事及び地区資金委員長、
次期各地区委員長、次期各分区代理、
次期各クラブの会長、幹事及び会計
各クラブの次期委員長(クラブ奉仕、
会員増強、広報・雑誌、職業奉仕、社会奉仕、
ロータリー情報、新世代、ローターアクト、
国際奉仕、ロータリー財団、米山奨学)

[第1回本会議]

9:00 登録開始

10:00 第1回本会議開会告知
点 鐘

国歌斉唱 「君が代」

ロータリーソング「我等の生業」

開会宣言

10:10 ガバナーアドレス

10:20 ガバナーノミニ紹介

10:25 ガバナーノミニ挨拶及びR I

会長テーマ並びにプログラム発
表、次年度基本方針発表

11:00 本年度地区資金決算見込

11:10 次年度地区資金予算説明

11:20 ロータリー財団現況報告及び次
年度方針説明

11:40 第1回本会議閉会告知
点 鐘

休 憩 (10分間)

[第2回本会議]

11:50 第2回本会議開会告知

点 鐘

次期ガバナーノミニ紹介

次期ガバナーノミニ挨拶

12:00 仮ロータリークラブ紹介

(南九州おおさきRC)

12:10 ガバナーへの感謝の言葉

12:20 ガバナー所感

12:30 閉会宣言

第2回本会議閉会告知

点 鐘

夜桜観桜会

夜桜の照明灯の配置された小高い場所
で、林卓美会員の特製のオードブル・
新鮮な刺身を肴に、日本の銘酒を味わい
ながら、楽しい春宵のひとつを過ごし
させていただきました。

『^{たんか}旦過詰』の3日目^{つめ}が終ろうとする晩、僧堂の綱紀を司る「^{しか}知客」の前に連れて行かれ、「今まで多くの雲水をお断りして来たが、貴公はなかなか願心も堅いようだし、ただ今欠員も出たので、一応明朝は参堂を許しましょう」と、人を喰ったような達示があった。

どうにか『^{てい}庭詰』の2日間と『^{たんか}旦過詰』の3日間の、忍辱と没我の苦行とも言える5日間を無事に終え、入門の難関をパスしたのである。

翌日の朝食（お粥と漬物）後、いよいよ禅堂で入門式が行われる。

正面の^{すし}厨子に「文殊菩薩」（聖僧）が祀られ、その両側の一段高い畳敷に先輩達がずらりと塑像のように坐っている。

案内の侍者の指示に従って、白足袋・袈裟を着け、全身を緊張の固まりにして先ず「聖僧」様に線香を供え三拝し、修行の無事を祈る。次に「^{じきじつ}直日」（禅堂取締り）の前に行き、「今後の教導をよろしく」という意味の低頭をする。そして旅荷の置かれた自席に着座しようとした瞬間に、「^{しんどう}新到、参堂！」と侍者が大声で呼ばわった。すると、厳然と坐していた先輩達が恭しく一斉に低頭されたのである。まさに簡潔にして厳肅な、心に残る入門式であった。

その日からの生活の場は、堂内片側にある「^{ひきじつたん}直日単」という14畳の間の末席の1畳である。天井から各自の名札が下

がり、上部に布団棚、その下に持鉢、経本を置く小棚、袈裟を掛ける細竹が1本横に渡され、座敷の後方に日用品を収納する小型の押入れが取り付けられているといった簡素な住まいである。

雲水の持物は、行雲流水の行脚の自由さと、限らない人間の所有欲を捨てる建前から極度に制限されていて、実にさっぱりしたものである。

2、3日後、「^{ろうししょうけん}老師相見」と告げられた朝、袈裟、白足袋を着け「相見香」の一封を持って隠寮（老師の部屋）へ行く。

全身緊張し、教えられた作法通り相見香を供え、三拝を済ませ、老師の前に低頭する。やがて、郷里、授業寺などを尋ねられたが、予期したよりも温かく、情愛溢れる口調であった。部屋一杯銘香の匂う中で、諄々と修行の心構えについて訓教を受け、師弟の契りを終えた。

僧堂生活の大眼目は、「^{せしん}接心」という行事である。『接心』とは心を接（摂）すること、即ち精神を一つの対象に一途に集中して乱さない意味であるが、一定の期間中、昼夜不断で坐禅することを言う。年間6回、それぞれ一週間に亘って設けられている。『接心』中はより一層厳格な規矩のもとに、すべてが参禅入室に集中される。外部との交渉は断たれ、起床は極度に早く、夜は遅くなるので、睡眠は極めて僅かである。この間の心身の消耗は想像を絶するものがある。

一日一度は坐禅をして、自分を見極めることも大切であると考えます。

（以上2回分は、録音故障のために要旨の一部を資料によりまとめました。）